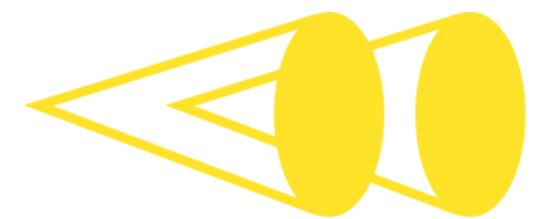


# SRHRスタディツアー報告書 (フランス、スイス取材)

2023年 10月21日

一般社団法人社会調査支援機構チキラボ



社会調査支援機構 チキラボ

# SRHR スタディツアー 日程

【2023年10月9日】

フランス・パリ着／FIGO企業ブース見学／高崎順子さん、ジョフロア・絵美さんと情報交換／FIGO各発表

【2023年10月10日】

FIGO各発表／ファーマシー訪問

【2023年10月11日】

FIGO各発表／FNSF取材（電話相談アソシエーション）

【2023年10月12日】

安發明子さん、パボさんと情報交換／メゾンドサロン  
（Maison de solenn）訪問／鉄道でスイス・ジュネーブへ移動

【2023年10月13日】

国連見学／WHO訪問

【帰国後】

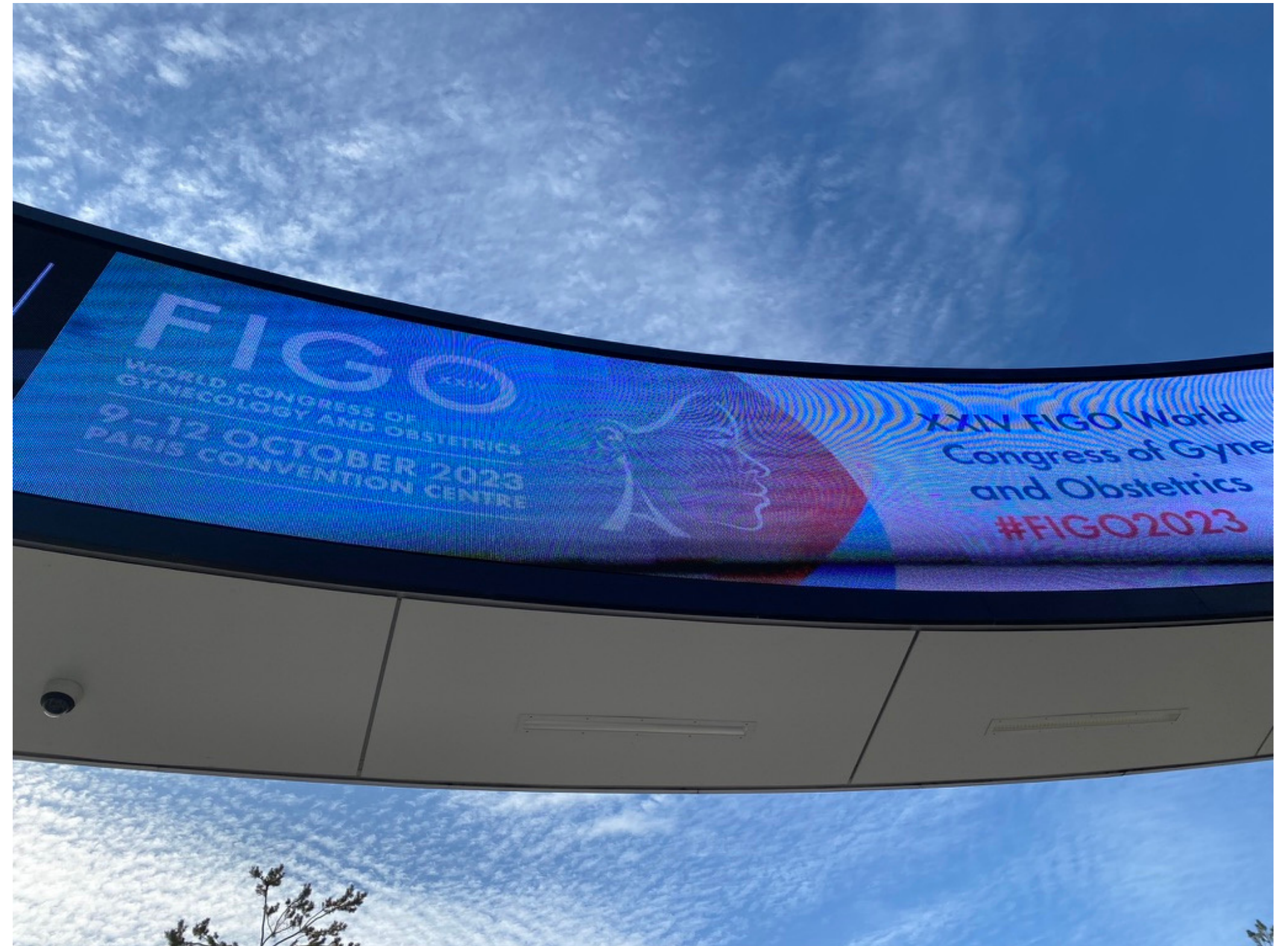
LGBTQ +支援団体「Le Refuse」リモートインタビュー

# FIGO (The International Federation of Gynecology and Obstetrics : 国際産婦人科連合) の世界大会

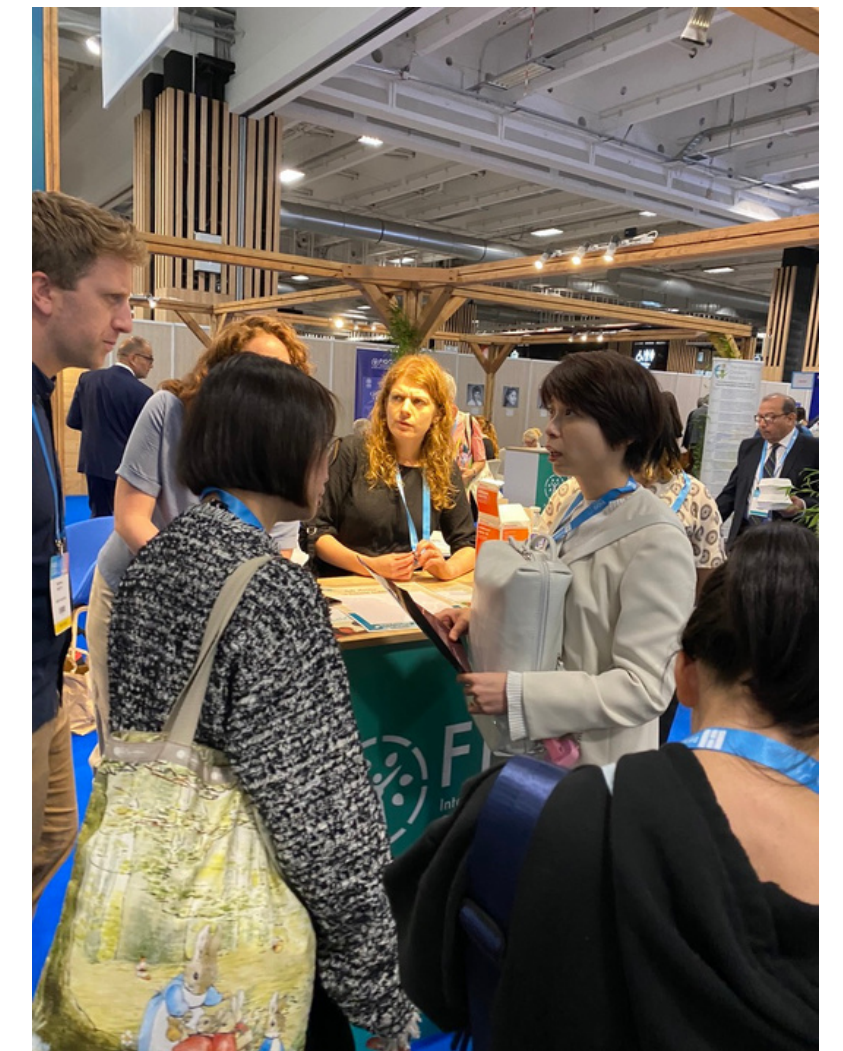
FIGO は、世界中の 130 以上の産婦人科協会を結集する専門会員組織。

FIGO のビジョンは、世界中の女性が生涯を通じて身体的、精神的、生殖的、性的健康と幸福の最高水準を達成すること。

このビジョンを達成するための取り組みは、教育、研究の実施、権利擁護、能力開発の 4 つの柱に基づいて構築されている。



# FIGO (The International Federation of Gynecology and Obstetrics : 国際産婦人科連合) の世界大会 : 関連ブース

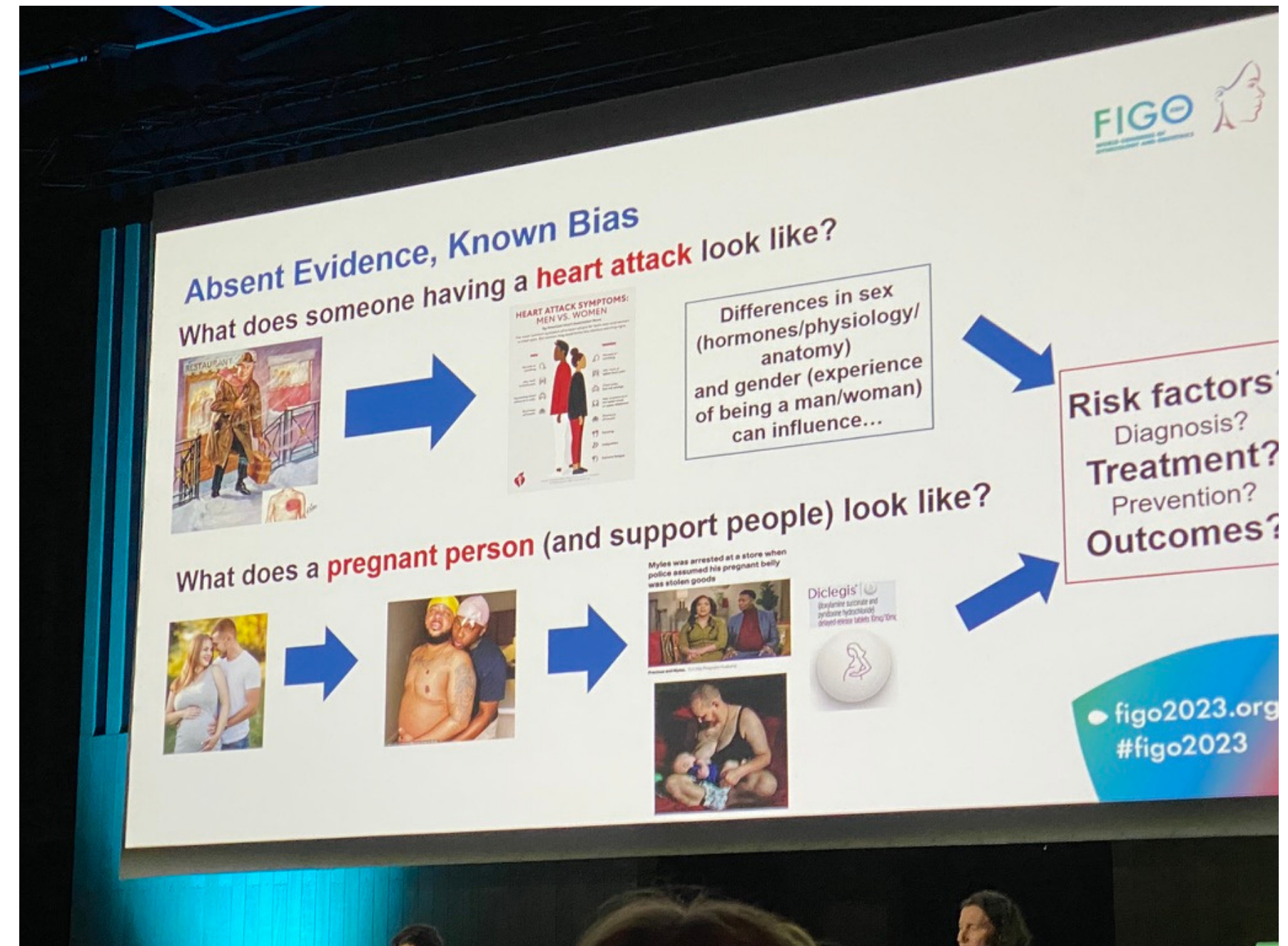
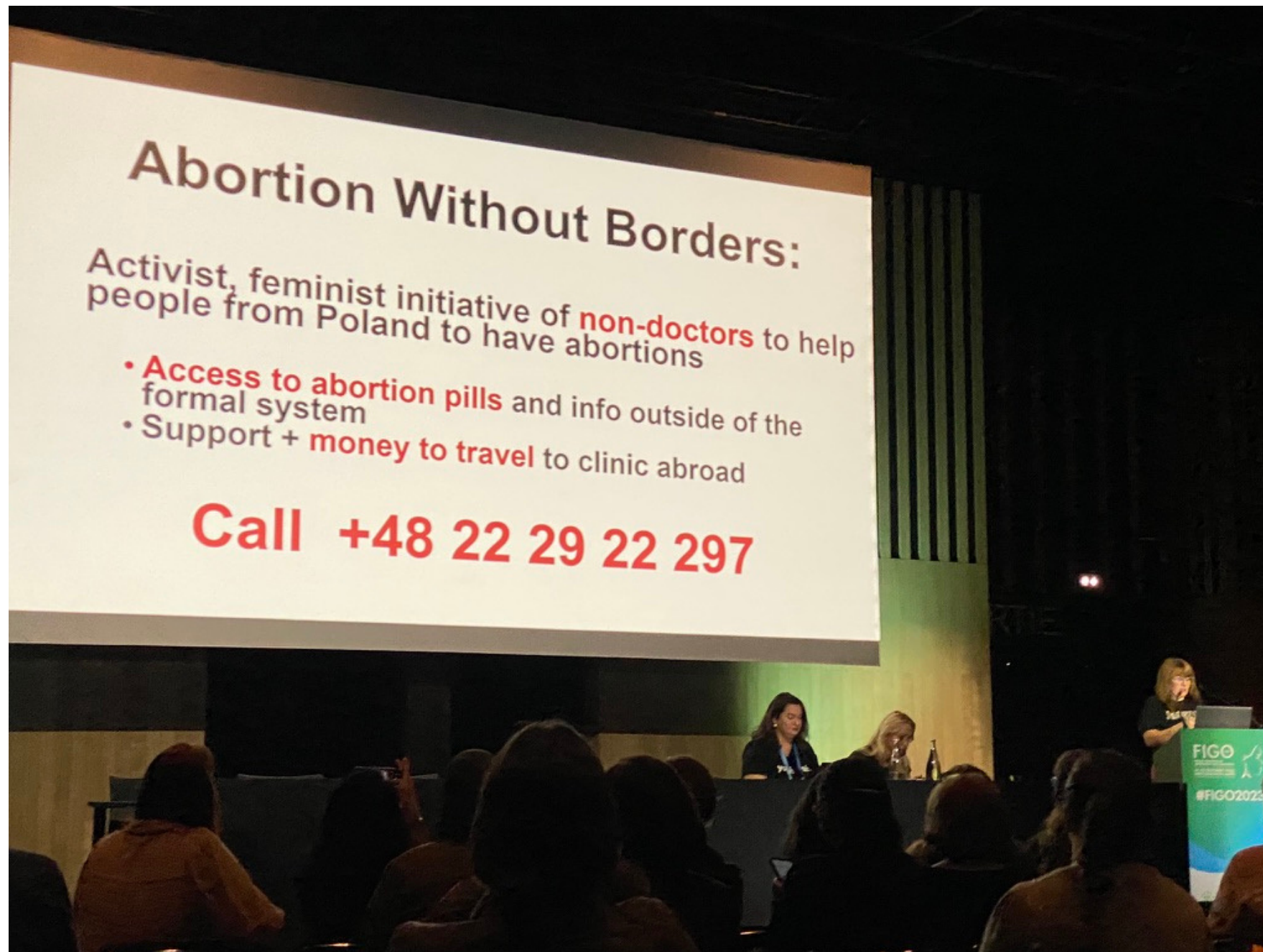


# FIGO (The International Federation of Gynecology and Obstetrics : 国際産婦人科連合) の世界大会 : 発表プログラム



# たとえばチキが気になった発表では…

- 左) 中絶が違法化されたフランスにおいて、隣国への渡航支援や医療費支援をするグループの発表
- 右) アメリカにおける、子宮のあるトランス当事者の妊娠、中絶、出産についての実態報告



# フランスの医療・SRHR状況についてのヒアリング (高崎順子さん、ジョフロア・絵美さん)

- ・子どもの医療費の原則無償化
- ・アフターピルは25歳まで無料  
(薬局でもらえる、年齢以外聞かれない) → 薬局で実践、確認
- ・プランニング・ファミリア  
(planning-familial) がSRHRに果たす役割
- ・「留守番問題」の、児童虐待の位置付けと周囲の対応→子どもを社会でみる体制が整った上での、「留守番規制」



# フランスの教育・福祉制度についてのヒアリング (社会学者・安發明子さん、エデュケーター・パボさん)

- ・ 妊娠段階からの介入
- ・ 虐待前、「心配」段階からの介入
- ・ 子供の権利を守る「子ども裁判所」  
(裁判官は少年院や児童保護分野で実習)
- ・ 家庭内に入り、子供をサポートする「エデュケーター」の役割





# パボさんのバンド・デシネは、近日、邦訳が発売！



※エデュケーター：フランスの国家資格で、児童保護分野で中心的役割を担う資格。児童保護、障害、社会的精神的困難を抱えた成人の自立支援を学び、看護師のように機関や役職に関わらずエデュケーターとしてキャリアを積む。若者たちはよく「彼は私のエデュックだよ！」という言い方をして、運がいいと親戚のおじみたい、社会的親ともいえるエデュケーターに出会えることも。フランスでは、心配な状況で、支援が必要であると判断された子どもに対し、月5時間～毎日1時間エデュケーターと一緒に過ごし、教育的支援をおこなう。毎年未成年人口の約1%が利用。平均約1年半で家庭内の状況が改善し終了していて、保健省は状況が悪化し施設措置になることに比べたら9000分の1のコストで済むと報告している。（CFサイトより）

# FNSF（電話相談アソシエーション）取材

（相談電話3919の責任者：オーロール・ルシャさん）

- ・ 共通番号で相談
- ・ 相談には二人体制で対応、情報と感情をチームでシェアリング
- ・ 個別介入はせず、近所のアソシエーションを案内  
（回復するのは本人の役割、という位置付け）
- ・ 女性デーなどを設けると、電話件数は激増  
（メディア、政府広報は有意味）



# ・メゾンドソレン (Maison de solenn) 訪問 (マリー・ローズ・モロー精神科医師インタビュー)

・若者のメンタルヘルスをサポートする公的機関。11歳から18歳までの若者は、平日の10時～17時まで、予約不要、匿名、無料でカウンセリングが受けられる。電話での相談。

・入院もでき、通うこともできる。予約不要。

・音楽、運動、アート、料理、ラジオ番組作りなどのブースがあり、子どもたちが参加可能。



# WHO訪問、意見交換



# LGBTQ+支援団体 Le Refuse リモートインタビュー

- ・若者支援、特に18-25歳の間の当事者を支援  
→ (25歳の生活保護受給開始年齢までのシェルター提供、生活支援、相談など)
- ・「親からの拒絶」「家出・追い出し」「社会的バックラッシュ」はフランスでも問題に

f t i y Fondation reconnue d'utilité publique Ligne jeunes LGBTQ+ : 06 31 59 69 50

LE REFUGE 20 ANS PROTÉGER LES JEUNES LGBTQ+ FONDATION LOST

La Fondation ▾ Dispositifs Actus ▾ Nous aider ▾ Contact 🔍 Je fais un don J'ai besoin d'aide

**“Elle a jeté son enfant dehors”**

Chaque année, **des milliers de jeunes sont exclus** de leur foyer, simplement parce qu'ils sont LGBTQ+.

**Aidez-nous à leur offrir un toit.**

Cliquez pour faire un don

label DON CONFIANCE

# SRHRについての課題



世界の具体事例の  
収集



日本国内のプレイ  
ヤーの拡充



適切な予算獲得と  
具体的広報



理念の浸透と確立